



# Comfort Hearing みみよりNews

No.0019  
12.10.30

## ご挨拶

永かった猛暑も数個の台風襲来で急に秋の訪れを迎えました。  
例年の日本聴覚医学会は秋の紅葉の季節でした。京都宝ヶ池の国際会館は秋の中にすっぽりと佇んでいた様に感じました。

せっかくの京都、京料理の端っこを味わって、エルミタージュからの展示美術を夢うつつで鑑賞して毎年の学会を楽しく過ごせました。

今年の夏で年齢・73を数え、体力・気力、特別に記憶力の衰えを痛切に感じます。

昨年の5月、本年6月と大きな手術を受け、先手必勝と言われる幸運に恵まれましたが人生の潮時を感じ、最後の頑張りに集大成なる事業を済ませたい今日この頃です。

写真は2013年のオリジナル・カレンダー、滝シリーズ第16作の滝です。  
最後の作品となるやもしれず、最も好きな姿の島根県・竜頭ヶ滝・です。  
オリジナル・カレンダー第1号で思い出深い、美しい滝です。



島根県 竜頭ヶ滝

みみよりNEWS 第19号をお届け致します。

今後とも皆様方のご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

株式会社 中国補聴器センター 会長 福元儀智

尚、御意見・御指摘 E-mail でお寄せ下さいますようお願いいたします。

## トピックス

【Ⅰ】第57回 日本聴覚医学会

【Ⅱ】第35回 補聴研究会

【Ⅲ】販売店協会機関誌

Fitting 97号 メッセージを読んで

【Ⅳ】補聴器適正供給は通信販売の  
禁止から始めよう

【Ⅴ】安心して補聴器買える場所!!

みみよりNEWSのバックナンバーは当社ホームページでご覧いただけます。

## 【Ⅰ】第57回 日本聴覚医学会

国立京都国際会館にて開催された。

会長：伊藤壽一、京都大学大学院医学研究科・耳鼻咽喉科・頭頸部外科

日時：平成24年10月11日(木)・12日(金)

総演題数は195、補聴は5群：26題 関連する人工内耳が6群：28題あった。

この他聴覚検査群等にも補聴関係が深いものも見受けられた。最も注目したのは、演題86「補聴器購入に至らなかった症例の検討」瀬戸さやか（小田原市立病院）他であった。購入に至らなかった42名の原因分類で、効果の乏しさ 雑音の煩わしさ 形状への不満等11項目が述べられた。難聴を自覚され、耳鼻科受診、相談される事は補聴器への期待があつての事と思う。断念の理由が上記、であれば、特性選定をもう少し頑張り、ききやすい調整が望まれるように感じた。

演題154「補聴器装用乳児の外耳道容積とRECD測定について」

宮澤晃文（目白大）他

実耳内における音圧をプローブチューブを通し測定(RE)し、別途2ccカプラで測定(C)し、これらの差を求めた(RECD)。この結果、500Hz以上では差が10dB以上となり、さらに高域では15dB以上にもなると述べられた。乳児群の外耳道容積は小さく(0.5~1.00c)、これが原因と思われると発表された。小生の経験で、成人においてオージオは高域まで水平でありながら、インサートイヤホンでは域値が小さく出る場合を2~3経験した。関連ありそうと注意深く拝聴した。

## 【Ⅱ】第35回補聴研究会

恒例の補聴研究会が、第2日目講演終了後行われた。

- 1) 乳幼児の補聴器、人工内耳の装着方法
- 2) 早期に補聴器装用を開始した中等度難聴児の装用経過
- 3) 補聴器適合における主観評価の活用と補聴器の音響特性
- 4) 補聴器装用時における自声のこもり感

模擬難聴による検討

- 5) 補聴器の防水化に関する進歩と最新技術について

この5項目が講演された。

## 【Ⅲ】販売店協会機関誌 Fitting 97号 メッセージを読んで

新たに日本補聴器技能者協会の理事長に就任された阿部秀実氏のご挨拶が巻頭言として記載されています。前理事長・宮永好章氏の後を継いで就任、ご苦労様です。そして

メッセージは主に3つあり、

補聴器適合は耳鼻科学的診断を経て装用効果を確認して供給されるべきだ

公的資格制度の確立は遥かに遠く改めて市民権を得る方策を模索中

テクノエイド協会に設置された「補聴器適正供給システムの構築プロジェクト」で討議されている、と述べられている。

・・・とっくの昔に出来ていなければならない事ですが・・・

また認定技能者1,900名、養成課程者を含めると4,500名、しかしこの中で技能者協会員組織率は余りに少ない。当面、講習会・研究会を随時開催し公的資格を目指すためのスキルアップに努める、とも記載されている。

・・・本誌No.16で述べたが販売店協会が嘗々と努力・発展させたポイント制度の講習会制度・地方支部等の研修会等全てテクノエイド協会に委譲し上納金化した、技能者協会は趣味の集合体にならないで欲しい・・・

#### 【Ⅳ】補聴器適正供給は通信販売の禁止から始めよう

テレビではお目にかからないが新聞広告での補聴器通販は毎日のように拝見する。価格と効能が述べられている。我々専門店でも作り出せないような効果が述べてある。これでは一般の方には我々の説明、調整、確認等理解して頂けないだろう。価格もべらぼう！と言われるだろう。阿部理事長の理念は到底に理解されないだろう。

##### 1) 補聴器もどき：集音器の価格

通信販売で数千円から

##### 2) 通信販売 20,000～60,000円

宣伝コピーは補聴器以上である。

自然な聴こえ、快適な使い心地

雑音やひずみを抑え、ささやき声までハッキリ

会話がよりくっきり聞こえる機能を搭載

会話が特によく聞こえる。

補聴器業界としてはこの1)、2)を絶対に許してはならない。

兼業・専業を問わずテクノエイド認定の資格者が対面販売をします！と云っても広告量で全く問題にならない。

FITTING誌記載の「虚い・誇大な広告を防止」ガイドラインを理解する、記述があるが検査は医療行為！その他が述べられているが、通販ではそんな検査は不要で、購入すればこんなに良く聞こえます！と言っている。これが大通りしている限り「ごまめの歯ざしり」でしょう。補聴器業界、製販一体でこの違法に見える通販を禁止しよう。

## 【IV】安心して補聴器買える場所!!

[時宝光学新聞 2012.10.1号、直角・斜角より]

記事によればS社がメーカー初の試みとして「3千円で10日間の試聴」に触れている。S社の調査で購入前の事前利用の希望者は55%あり、理由は「高価な買い物のため、事前に使ってみたい」=49%、「製品の効果を知りたい」=78%、そして「補聴器を安心して購入できる所」の認知では「知っている」=12.5%、「知らない」=87%というデータがでている。

そして福祉関係専門家でも、専門店の存在を知らず、補聴器はメガネ大手量販店で買うものとの談話が載っていた。

記者は[専門店]を指している様に読めるが、この[専門店]とは何ぞや？

一般の人に認識してもらい、安心して買って頂ける場所、店、これはチラシやのぼりでの広告によるものではない。「満足度は性能に非ず」とNo.17で述べたが、“安心してもらう”は、“満足してもらう”と同意語で技能を含む業界の姿勢、努力にかかっている。

もう一步踏み込んだ解説が欲しい。



[写真は2008年10月3日、第53回日本聴覚医学会・東京・明治記念館でのお元気な姿]

### 大和田健次郎先生を偲ぶ

日本聴覚医学会・名誉会員の大和田健次郎先生が去る4月14日、逝去されました(享年94才)。謹んでお悔やみ申し上げ、ご冥福をお祈り申し上げます。先生との出会いは1967年(昭和44年)頃東京学芸大学での研究室でした。勤務先で開発した足踏み式スイッチによるテープレコーダーを駆動し、絵カードを選ぶ、ことばを再生させる装置について教を請う訪問でした。1971年、「小型イヤホンによる域値測定と補聴特性との関係」を共同研究した時、先生の注目を頂き、2年後、「SPLメータ」と命名された装置を世に

出されました。フィッティングを小型イヤホンによるSPL値で行う方向は同じでしたし、特性は「リニアが一番良い」のも同意でした。しかし先生の「出力音圧120dBまでリニアである」には大反対を申し上げました。先生より1985年に私どもが発表した203耳の不快感値の検討データの依頼があり、お送りしました。先生の「SPLメータ」による値を疑似補聴器として考える方式は同意でしたが、快適値・不快値に対する考え方では平行線であった事、今でも残念に思います。その後、先生は難聴でことばが分からないのは内耳にひずみが生じている為であることから内耳ひずみ研究会をされたり、昨年7月11日にお訪ねした入居施設では、「ことばがわかる補聴器」を設計する!!とブラウン管を置き、半田ゴテでアンプを作成されていました。「福元君、頭は大丈夫だが、足が弱ってねー」と笑いながらお見送り頂いたのが忘れられません。どうぞこれからは時間にしばられる事なくご研究ください。そして私共にご指導下さいませよう宜しくお祈り致します。 合掌



CHG  
コンフォート補聴器グループ  
株式会社中国補聴器センター

ホームページ <http://www.chg.jp>